

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



外国籍住民向け防災教室を開催

1月15日、金田コミュニティセンターで開講中の「日本語交流教室たんぼぼ」で、外国籍住民向けの防災講習会が行われました。1月17日は阪神淡路大震災、そして3月11日は東日本大震災と未曾有の大災害が起きたこの時期。「避難所」「津波」「行方不明」などの災害に関する単語も勉強しながら、地震が起きたときどう動くべきか、ワーク形式で学びました。外国人向けに開催されたものですが、実は同席していた日本人講師でもわからないことや勘違いが出てくるという結果に。定期的に防災を学ぶ必要性を強く感じました。

赤こんりポート

今井良治リポーター



「台風もなく作柄も上々」 内野八幡神社で「豆占い」

焼けた大豆の色合いで一年の天候を判断する「豆占い」が2月3日夜、安土町内野の八幡神社で行われました。七輪の上に熱した鉄板を載せ、今年のおい役を務める2人の社守が、鉄板上のくぼみに6個ずつ大豆を並べ、さらに脂分の多い肥え松の先端に火を付けて大豆に押しつけ一個ずつ焼き上げたあと、焼けた豆の色を「黒（雨）、白（晴）、白」などと声高らかに判定。この後、正月の左義長で小豆がゆを鍋で炊く際に空の竹筒3本を入れ、筒の中への小豆の入り具合で水稻の作柄を占う「小豆占い」も営まれました。結果、7月、9月は雨が多いと出たものの「台風など大きな災害はなく天候に恵まれコメの作柄も上々になるのでは」とのこと。占いの結果は翌日、本殿前に掲示されました。

赤こんりポート

東恵子リポーター



誰もが住みやすい 福祉のまちづくり

岡山・北里学区にある7つの社会福祉法人で「おが・きた安心ネット連携協議会」を立ち上げています。2月のボランティア養成講座は残念ながら中止となりました。この講座は、子育てや障がい、高齢分野でのボランティアを育てようとなりましたが、子育ての仕方や福祉に興味がある人など参加者の思いはさまざまです。受講者が保育園や障がい者の働く作業所、介護施設など8つの施設でボランティアを体験し、生きがいや楽しさを感じて、それぞれの地域で理解や仲間づくりが進めばという思いがあるそうです。参加予定者のもとに、紹介DVDや冊子、ノベルティグッズが届きました。今はコロナ禍で距離を取る時期ですが、思いを同じくする人たちの心の距離は縮まっています。



12月14日・1月18日

大きな大根穫れてハッピー 桐原小4年生が生ごみ堆肥でつくった大根を収穫

桐原小学校4年生が、給食の残りを堆肥に変え、畑で大根を育てて収穫する取り組み「桐原戦隊ecoレンジャー」では、12月に収穫、1月に感謝祭を実施しました。

桐原学区で生ごみのたい肥化に取り組む「市民生ごみリサイクルプロジェクト」のメンバーと子どもたちで育ててきた大根には、長さ60センチ、太さ20センチを超える巨大なものも。子どもたちは、穫れた大根を見せあい、喜んでいました。また、1月には「大根感謝祭」と題し、子どもたちによる大根に関するクイズや紙芝居、収穫までの流れを表した寸劇が行われ、子どもたちから同プロジェクトメンバーへ感謝の言葉が贈られました。大根は、この日の給食とともにおでんとしていただきました。

2月9日



パナソニック松愛会滋賀支部が アルミ缶のプルタブを集めて車いすを寄贈

退職した社員の交流組織である「パナソニック松愛会滋賀支部」が社会貢献のため、アルミ缶のプルタブを集めて購入した車いす1台を市に寄贈いただきました。

平成23年4月にも同様の寄贈をいただき、今回で2台目となります。

この日の贈呈式に出席した谷迫秀行支部長は「プルタブ約500kg分を集めて、ようやく1台の車いすになります。多くの人から協力をいただき感謝します」と話していました。

この車いすは、近江八幡図書館でご利用いただけます。

1月22日



西の湖にヨシ刈りの季節到来 市民らがヨシ刈りを体験

西の湖に浮かぶ湖岸緑地・西の湖園地で、自然保護ボランティア団体「近江八幡市民自然観察会」が主催するヨシ刈り体験が行われ、約15人が参加しました。

参加者は、同会のメンバーから、ヨシの刈り方やヨシとアシの見分け方、処理の仕方などの説明を聞いたあと、それぞれ鎌を手にヨシ刈りに挑戦しました。

刈り取ったヨシは、束にしてまとめられたあと、加工業者に引き渡され、よしずなどに製品化されます。

2月5日～3月21日



かわらミュージアム企画展 近江鉄道と四季折々の身近な絶景

四季折々の風景と近江鉄道をほぼ毎日撮り続けるアマチュア写真家のなかむら義宣さん（東近江市在住）の写真展「身近に潜む絶景の世界」がかわらミュージアムで開催中。

23枚ある写真のほとんどがなかむらさんの家から15分以内の場所で撮られており、身近な風景をもとにその中の一瞬の絶景が収められています。

なかむらさんは「SNSでも多くの人に見てもらっているが、やっぱり会場のアンケートでもらう手書きのメッセージが嬉しい。宝物です」と話していました。

写真展は3月21日祝まで。



メンバー募集

私たちと一緒に市の魅力を発信しませんか？

赤こんりリポーター
Facebookページ

市民目線で、地域の魅力やイベントの取材情報などを、市広報紙などの広報媒体にご紹介いただく、令和4年度の市民広報リポーター〔愛称：赤こんりリポーター〕を募集します。応募期間は3月31日（木）までです。応募条件など詳しくは市ホームページをご覧ください。

申・問 秘書広報課 TEL (36)5526・FAX (32)2695
HP 12634